

東京都臨床検査技師会 平成24年度 第5回理事会議事録

日 時：平成24年9月19日（水）19時00分～20時30分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，小松，原田，高城，中西，井上，鈴木，工藤，土橋，蝶名林，大野，杉岡，三橋，多田
佐藤，松村，小山，遠藤監事，荒木役選委員

議長：下田

1. 行動報告（理事）

7月12日（木）	渉外部会	原田，多田，佐藤
7月24日（月）	学術部会	小松，高城，中西，石橋，蝶名林
8月1日（水）	公益移行推進委員会	下田，千葉，小松，宮崎，原田，高城，中西，井上，鈴木 工藤，多田
8月1日（水）	監理会議	下田，千葉，小松，宮崎，原田，高城，中西，井上，鈴木，工藤
8月3日（金）	学会企画委員会	小松，高城，原田，中西，鈴木，工藤，蝶名林，大野
8月3日（金）	会計部会	鈴木，土橋
8月8日（水）	STI 予防委員会	原田，佐藤
8月24日（金）	編集委員会	高城，蝶名林
9月4日（火）	表彰選考委員会	千葉，工藤
9月5日（水）	公益移行推進委員会	下田，千葉，宮崎，原田，高城，中西，工藤，多田
9月5日（水）	監理会議	下田，千葉，宮崎，原田，高城，中西，鈴木，工藤
9月7日（金）	組織部会	杉岡，千葉，原田，三橋，多田，小山，松村，蝶名林，佐藤
9月10日（月）	会計部会	鈴木，土橋
9月11日（火）	情報システム運営委員会	下田，宮崎，高城，井上，土橋，鈴木，島田，市村

2. 報告事項

1) 平成24年度第4回理事会議事録の内容確認

2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

・都臨技学会に関して

災害医療に関してを題材として学会テーマに沿った内容での講演を依頼予定

講師候補：新井隆男医師 東京医科大学八王子医療センター 救命救急センター長

・健康まつりの進捗に関して

各地区健康まつりの時期なため，各種手配の進捗と準備の確認を行った。

西部地区で例年参加していた中野まつりは，今後中野区が開催しないと決定した。

・来年度予算に関して

9月中旬に来年度予算案の策定を各地区にお願いした。

・組織部・学術部合同研修会について

本年度は4地区（多摩，南西部，北東部，中部）での開催とし日時，内容に関しては決定次第行事予定表へ掲載する予定。

<東部地区>

江戸川区民まつり 10月7日（日） 東京都立篠崎公園にて，血管年齢測定

江東区民まつり 10月21日（日） 東京都立木場公園にて，血管年齢測定

<西部地区>

地区親睦BBQ 11月3日（土） 若洲海浜公園にて予定

<南部地区>

南部地区親睦会BBQ 9月1日(土) 品川フィッシングガーデンにて開催
参加者:59名(会員41名 賛助会員12名 非会員6名)
大田健康まつり 10月28日(日) 多摩川丸子橋緑地にて予定
血管年齢測定・尿定性検査・乳がんセルフチェック

<北部地区>

地区親睦会ボーリング 8月31日(金) 池袋ハイパーレーンにて開催
参加者:33名

<中部地区>

大新宿まつり ふれあいフェスタ2012 10月21日(日) 東京都立戸山公園にて予定, 血糖測定

<多摩地区>

稲城市健康まつり 10月8日(月) 稲城市立総合体育館にて予定, 骨密度測定
小平市民まつり 10月21日(日) あかしあ通りにて予定, 血管年齢測定

<フォーラム委員会>

「これが聞きたい!! チーム医療」(サブタイトル:未定)
期日:平成25年1月19日(土) 午後3時~6時
場所:堀場製作所
講師:松永直久医師 帝京大学医学部附属病院 感染制御部部长
その他技師2名(未定)を予定

【検討事項】

・特になし

○渉外部

【報告事項】

<STI予防活動>

- ・7月6日(金) 13:00~13:50 大森学園高校
対象:第1学年 (男女別339名)
講師:佐藤(信), 佐藤(美)
- ・7月11日(水) 11:00~12:00 都立芝商業高校
対象:第1学年 (男女別212名)
講師:岡村・木村
- ・7月11日(水) 11:00~12:00 安田学園高校
対象:第2学年 (男子333名)
講師:宮後・福良
- ・今後のSTI予防教室開催予定
7月13日(金) 13:00~13:50 2年生(女子237名) 日大豊山女子高校
平成25年3月 時間未定 未定 都立練馬工業高校

<学生対象講演会>

期日:平成24年7月7日(土) 14:00~16:10(受付13:30~)

場所:社会保険中央病院 4階講堂

テーマ:「臨地実習の意義と取り組み方」

講演1:臨地実習の意義 東京女子医科大学東医療センター 浅野 直仁技師

講演2:私の体験談 東京慈恵会医科大学附属第三病院 赤峯 里望技師

公益財団法人結核予防会複十字病院 嘉村 勇樹技師

講演3:管理職の立場から, 新入職員へ望むこと-当院の事例を含めて-

医療法人財団慈生会野村病院 椎津 稔 技師

参加者:計171名(学生156名, 会員15名)

【検討事項】

・公開講演会について

予定していた帝京大学での開催は、本年度は断念することとなった。また新渡戸学園にも依頼をしたが学園祭のテーマと異なるのでお断りされた。

そこで今年度は、例年通り下記の予定で行うこととなった。

期日：平成 24 年 12 月 1 日（土） 13:00～17:00

場所：中野サンプラザ

講師：澤村正之医師 新宿さくらクリニック院長

渡邊 登医師 日大駿河台病院 精神神経科部長（打診中）

内容：「STI」と「うつ」

○学術部

【報告事項】

・議事録内容確認

第 3 回学術部会議事録の確認を行った。

前回、部長より提案のあった学術部会の運営について従来通りの運営方法とし、部会の中で各委員会報告を行うこととする。

エンブリオロジストに関する研修会について、株式会社サイエンス・フロンティアズに共催として協賛金を支払う意思がないことから今回は見送ることにし、来年度以降に公衆衛生研究班として検討することになった。

<理事会報告>

・以下の願い書について承認をいただいた。

共催許可願い書 ①病理細胞診（平成 24 年 9 月 12 日開催）

②輸血（平成 24 年 9 月 11 日開催）

特別講習会実施許可願い書 ①生理（平成 24 年 9 月 15 日開催）

②生理（平成 24 年 10 月 14 日開催）

・公益法人の取得に向けて、どの業務が公益になるか現在グルーピングを行っている。

・来年度の事業計画を 8 月末までに提出する。

<関甲信地区学術合同会議について>

・関甲信地区学術合同会議が 6 月 30 日に行われ、今後の関甲信地区の研修会について話し合われた。

・今年度予定がある研修会については、助成金 10 万円を支払う。

・来年度も、現在の関甲信地区研究班で研修会を今年度同様に進めてもらってもいいが、助成についての枠組みがまだはっきりと決まっていない。

・今年度については関甲信地区と首都圏支部の枠組みがはっきりとしていないため、関甲信支部、首都圏支部の学会は共同開催で神奈川が行う。

・来年度は、東京が首都圏支部学会で茨木が関甲信支部学会を行う。

期日：平成 25 年 10 月 27 日（日）

場所：KFCホール（墨田区）

<編集委員会報告>

・編集委員会議事録（第 2 回）の確認を行った。

・来年度のシリーズで、検査技師と関わりが強い職種として看護師、放射線技師、臨床工学士、薬剤師の方に原稿を依頼することになった。執筆者の選定について研究班にお願いすることもあるので、その時はご協力をいただきたい。看護師の候補は決まっている。

・11 月号の特集は微生物検査研究班が担当する。

<データ標準化・精度管理調査委員会報告>

・データ標準化・精度管理調査委員会議事録（第 1 回）の確認を行った。

・最終報告書の形式について、コストなどの関係で今年度から CD-ROM での配布を行う。業者は選定済み。

・施設認証については、10 月から 11 月頃に申請があり、12 月に都臨技として判断する。

<生涯教育実行委員会報告>

- ・6月の行事は11行事、他団体の自己申告は8行事の登録を行った。

<学会関係>

- ・学会企画委員会議事録（第2回）の確認を行った。
- ・一般演題の査読を、各研究班に11月頃お願いをする。
- ・実務委員は、半日の実務として参加費を徴収する。

<予算執行状況について>

- ・第一四半期（6月末まで）の会計報告を7月10日までに提出をお願いしていたが、2研究班がまだ提出されていないので、提出をお願いしたい。
- ・執行状況については、各班長も確認するようお願いしたい。

【討議事項】

<学術部内規の見直しについて>

受益者負担講習会について、後藤班長より事前に意見の集約をしていただいた内容の確認を行った。

- ・公益法人への移行を考えた時に、講師料は一定にした方がよい。
- ・事前準備にかかる費用は、施設の持ち出しの部分もあるので、正当な金額を請求できるようなシステムを考えた方がよい。
- ・講習会で使用する器具について一部、技師会で購入してはどうか。
- ・実務委員は、実技講師に含めて統一した方がいいのではないか。
- ・受講生何人に講師をつけるか問題。4～5人に一人の講師をつける班が多い。
- ・講師料は技師会の予算から出し、その他の費用を受益者負担にしてはどうか。
- ・1日と半日の定義があいまいなので、3時間以上を半日、6時間以上を1日と定義する。
- ・参加費の統一は難しい。
- ・金額や日程の決定などにより会場の確保が問題になるので、技師会として一定の会場（学校など）を契約して使用してはどうか。

<基礎研修会について>

後藤班長より事前に意見の集約をしていただいた内容の確認を行った。

- ・11月に東部・北部、南部・西部、中部、多摩の4地区で基礎研修会を予定しているので、その状況を見て検討したい。
- ・研修会をビデオ撮影して配信することも一つの手段ではあるが、現状では無理。
- ・平日の夜、研修会に参加できない人のために、土曜日の昼間に開催してはどうか。
- ・地区により状況が違うので、各地区で企画して研究班と協議をし、次年度の計画に組み入れてはどうか。
- ・できるだけ多く受講機会を与えてあげたい。
- ・テーマをひとつに決めて、それに合同参加してはどうか。

以上の意見を踏まえて、さらに研究班から意見を出していただき、継続審議とする。

<その他>

- ・班長の名刺が欲しいとの要望があったため、希望者は蝶名林次長まで連絡を入れる。

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成24年8月31日現在）
会員数 4,223名
平成24年度賛助会員数 71社

○会計部

【報告事項】

- ・平成24年7、8月の予算管理月報、他3表を作成し報告
- ・平成24年8月31日現在の会費収入状況報告

- ・平成 24 年 7, 8 月の主な事業活動収支報告
支出：倫理高揚資質向上事業（第 9 回東京都医学検査学会ポスター，データ標準化報告書作成費用）
管理費（理事会研修費費用，プリンター修理および消耗品，雑費など）
- ・前期会計簿提出について
会計簿返送の手配を進め，10 月 9～11 日に集計を行う．
- ・後期仮払いについて
10 月 17 日（水）および 18 日（木） 19:00～20:00 都臨技事務所にて
- ・その他
本年度中間監査日程について事務局と調整することとした．

○事務局

【活動報告】

- ・理事研修会の準備
- ・学術組織再構築に関する検討委員会の公募要領 の対応
- ・首都圏支部（第 1 回）関甲信支部（第 49 回）医学検査学会一般演題座長推薦 の依頼
- ・公益法人化に関する証明書の発行申請手続き（麹町税務署・千代田都税事務所）
- ・平成 23 年度データ標準化の報告書（CD） 182 件発送
- ・神奈川県企画パネラー推薦依頼 の対応
- ・都議会民主党ヒアリングの資料準備

<理事研修会について>

期日：平成 24 年 8 月 4 日（土）～5 日（日）

内容：4 日（土） 19:00～ 市ヶ谷界隈で懇親会 参加者 16 名

5 日（日） 9:00～17:00 事務所にて研修 参加者 17 名

<事務所の年末年始休暇について>

平成 24 年 12 月 28 日（金）～平成 25 年 1 月 4 日（金）まで

3) 各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

- ・東広社より 11 月号の入稿状況について報告があった。
施設紹介は浴風会病院に依頼中，シリーズ入稿中
- ・確認事項
議事録は，翌月 1 週目の月曜日までに学術部長，学術次長，編集長へ送ること。
研修会後の要旨依頼状が各班で異なっている可能性がある．統一した書式を検討する。
欠席する際は極力代理をたてること。
- ・編集部引継書について
編集各委員に「編集部引継書」および「広告掲載願い」の規定と用紙を送付する。
- ・次年度シリーズについて
「検査技師に知っていて欲しい知識」シリーズ
5 月号は情報システム担当で「看護師」に依頼した。
他業種への原稿依頼には編集部長・次長名で依頼状を出す。
- ・東京都医学検査学会
平成 25 年 2 月 17 日（日）に開催，学会のポスターが 8 月号に折り込みで送付した。
11 月号に「学会案内」を 1 ページ掲載予定
- ・施設紹介の担当は，地区理事へ依頼する．また 2 月号には予算議案書を掲載する。

【検討事項】

- ・来年度の会誌の色を次回に決定する予定。

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（7月）
都臨技研修会 11件 登録者数 691名
申告
会場研修 8件 登録者数 14名
- ・生涯教育対象行事（8月）
都臨技研修会 1件 登録者数 77名
申告
会場研修 4件 登録者数 48名

○役員選出委員会

- ・開催なし

○表彰選考委員会

【報告事項】

- ・名誉会員推薦について
名誉会員に推薦した 後藤清会員については理事会にて承認された。今年度の都臨技新春のつどいおよび各賞受賞祝賀会で祝う予定である。
- ・平成24年度第41回医療功労賞(読売新聞社主催)について
前年度より推薦候補者及び職場の上司と連絡を取り今年度の推薦を知らせていたが、本人より辞退の旨連絡があり、今年度の医療功労賞(読売新聞社主催)推薦については「該当者なし」として下田会長へ報告することとした。東京都には技師会より「該当者なし」として連絡をしてもらう事とする。

【検討事項】

- ・前年度の予定からすると次に推薦の提出期限が来るのは平成25年度秋の叙勲・褒章推薦、小島三郎記念技術賞、福見秀雄賞、東京都功労者表彰などで、各賞の推薦に該当する候補者については早急に選定を開始する必要がある。
福見秀雄賞については委員会で前回候補推薦者 沖田 政義 氏を再度推薦することで決定している。
提出書類等については加筆し再度整理をして頂き、提出してもらうことになっている。
福見秀雄賞で他にも該当しそうな候補者がいれば検討する。また小島三郎記念技術賞については委員会で数人の候補者の名前が挙がっている。学術部とも連絡を取り早急に候補者を絞り込んでいきたい。

○学会企画委員会

【報告事項】

- ・前回議事録確認
前回議事録内容を確認し、現在までの進捗状況説明を行った。
- ・特別企画について
公開講演 講師：向井万起男先生（慶應義塾大学准教授；病理学）
テーマ：「イチローから進化を考える」
- ・研究班企画について
4題；情報・血清・公衆衛生・一般
9月末までに講師、内容を決定してもらう。講師には抄録作成を依頼する。
- ・組織部企画について
内容検討中。内容・講師の扱いについては研究班企画と同様。
- ・予算について
講師費用は研修会内規に準ずることとした。

・一般演題について

募集期間：9月15日（土）～10月20日（土）

申込み要項：学生演題，発表データに関する事項，問い合わせ先等について修正が必要なため，中西委員が修正を実施し，各委員へメール送信後内容を再度確認することとした。

JAMTISでの登録：学生会員は利用できないため，別途申込み方法を考えることとした。

抄録文字数：一般演題は936文字以内．学生演題は特別企画，メーカーセミナーと同様とする．

（第8回学会で使用したもの）

・メーカー協賛について

①ランチョンセミナー：4社．高城実行委員長にて依頼．

②機器試薬セミナー：8社．趣意書とあわせ，募集を分担で実施する．

③抄録文字数：上記に記載．

・学会広報について

①ホームページ：公告に引き続き一般演題申込み案内を掲載予定．

②都臨技会誌：8月号に公告を掲載．学会ポスターを同時に送付．

・抄録集について

①配布方法：全会員に配布．（4,200部 450,000円）別刷を2月号会誌に同封する．

②発行スケジュールについて：2月号の発行進行スケジュールは通常通りとした．

・実行委員会について

①実行委員について：原案に宮崎副会長を事務局長，学生担当を松村理事とし，広報HP担当に市村委員を加えた．

②実務委員について：次回委員会までに実務委員の具体的な人数を算出することとした．

・その他

①日程表案について：公開講演に他の発表，セミナーがかぶらないよう調整を行なった．

②学生の参加について：参加費は無料とするが，資料（抄録）・弁当の実費として1,000円を徴収することとした．

③会場下見について：下見に行った委員が少ないので，再度実施することとした．

○STI 予防委員会

【報告事項】

・5～7月に実施されたSTI 予防教室の報告

都内高校5校および専門学校1校（うち1校2回の計7回）で実施，計1,771名が聴講した．

一部の聴講生に対しアンケートを実施したので集計がまとまり次第，結果を報告する．

・名刺の配布

STI 予防教室の

【検討事項】

<日臨技委託事業について>

・渉外部公開講演について

期日：平成24年12月1日（土） 13:00～17:00

場所：中野サンプラザ

講師：澤村正之医師 新宿さくらクリニック院長

渡邊 登医師 日大駿河台病院 精神神経科部長（打診中）

内容：「STI」と「うつ」

・STI 予防啓発のための街頭活動について

新宿や池袋の駅前などでSTI 予防啓発を目的とした配布活動を行う．

日臨技の配布物（ティッシュ・あぶらとり紙）の有無については未定．都臨技オリジナルの配布物の作製を検討する（コンドームや絆創膏の案）．オリジナルパッケージ作製の可否や価格，作製方法を板橋委員および木村委員が検討する．

日程は渉外部公開講演同日（12月1日）か，別日とするか検討するが，世界エイズデー（12月1日）の前後で実施したい．

街頭活動にあたっては予め所轄の警察署へ道路使用許可の申請が必要である．

<今後の講師トレーニング方法について>

今期、初めて講師を担当したスタッフに講師トレーニングに関する意見を聴取

- ・委員会で企画した講演形式のトレーニングの方法と回数では不十分であった。
 - ・予防教室の内容を知っている理事、幹事など都臨技関係者以外の前でも講演を練習する機会を持ちたい。
- などの意見が挙げられた。今後は専門学校など技師養成学校でのトライアルについて検討したい。

○情報システム運営委員会

【報告事項】

- ・都臨技HP、会員管理システム、会員証発行システムの管理を情報システム委員会から事務局に移管する。
- ・HP管理は、島田常任委員が担当し、平成24・25年度の更新作業担当者は、現担当者4名が引き続き行う。
- ・会員管理システム、会員証発行システムは市村常任委員が担当する。

<HP運営について>

- ・将来的には会員専用ページの開設が望まれるが、会員管理システムとの連携が必要で大きな仕組みになっているので費用がかかる。その必要性の検討が求められる。
- ・現在委託しているパレットブランニングは、相対的に安価であり現状の内容であれば費用対効果は高い。
- ・一般向けコンテンツの充実が求められる。その活動に必要な予算は計上されている。
- ・一般向けコンテンツ作成の外部委託が可能なので費用を確認することとした。
- ・コンテンツ作成ルール（掲載依頼・掲載期間・作成指示など）を事務局から提示する。
- ・会員および一般向けに有用な情報の速やかな掲載が重要である。部局からの情報は常務理事の判断で掲載としコンテンツ作成などはHP責任者の判断により行うこととした。
- ・@tmamt.or.jp メールアドレスの非利用アドレスの削除をすることとした。登録されている全アドレスに利用確認メールを送り、返信のないアドレスは削除する。
- ・後援などの行事をHPに掲載する場合（掲載依頼含む）、主催者から掲載依頼をとることとする。所定の書式を用意する。
- ・賛助会員からの依頼があればリンクを掲載する。

<会員管理（会員証発行含む）>

- ・他県技師会からの移動については、都臨技に会費納入され次第会員証を発行することとした。
- ・学生会員の運用について検討を行ったが、具体的提案にまとまらなかったため、事務局で協議を進めることとした。

3. 審議事項

○庶務部

新入会員69名が提示され、承認された。

4. 共催許可願い書および特別講習会許可願い書について

○免疫血清検査研究班より共催許可願い書が1件提出され、承認された

講演名：血中薬物濃度測定で知っておきたい薬物動態と測定意義について～免疫抑制剤を中心に～

期 日：平成24年10月18日（木） 18:30～20:00

会 場：東京医科歯科大学 3号館3階 医学科 講義室2

講 師：田野崎 隆二 医師 国立がん研究センター中央病院 輸血診療科 科長

賛助会員：シーメンスメディカル株式会社

○一般検査研究班より共催許可願い書が1件提出され、承認された

講演名：泌尿器疾患の病理（仮）

期 日：平成24年11月28日（水） 18:30～20:00

会 場：順天堂大学医学部 10号館1階 105カンファレンスルーム

講 師：三富 弘之 医師 順天堂大学医学部 人体病理病態学科

賛助会員：株式会社テクノメディカ

○血液検査研究班より共催許可願い書が1件提出され、承認された

講演名：知識を深める研修会 「治療に関するトピックーTKI 阻害薬と LGL 関連（案）ー」

期 日：平成 24 年 12 月 20 日（木） 19:00～20:30

会 場：東京大学医学部附属病院 入院棟 15 階大会議室

講 師：大橋 一輝 医師 がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科部長

賛助会員：ブリストル・マイヤーズ株式会社

○生理検査研究班より特別講習会実施許可願い書が1件提出され、承認された

講演名：神経生理検査技術講習会

期 日：平成 25 年 2 月 23 日（土） 13:00～18:30

会 場：東京通信病院 管理棟 5 階 小講堂

講 師：杉山 邦男 技師 東邦大学医療センター大森病院（他 3 名）

5. 後援および名義使用許可願い書について

○一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会より後援および名義使用許可願い書が1件提出されたが、申請書について確認および修正事項があり、継続となった

講演名：輸血テクニカルセミナー2012

期 日：平成 25 年 1 月 19 日（土）、20 日（日）

会 場：東邦大学医学部

○私立医科大学臨床検査技師会より後援およびホームページへの掲載依頼書が1件提出され、承認された

講演名：平成 24 年度私立医科大学臨床検査技師会学術研修会

期 日：平成 24 年 11 月 10 日（土） 10:00～15:00

会 場：株式会社 堀場製作所 会議室

平成 24 年 9 月 19 日（水）

（社）東京都臨床検査技師会

議 長

（下田）

印

監 事

（遠藤）

印